

## 「在学生支援事業」その1

### 現職教員と学生の交流会

一昨年以來連続開催の市大卒の若手現職公務員と教員志望在学生との交流会を実施しました。

#### ◆日時

28年5月28日(土)

14時～ パネルディスカッション

ン・質疑応答

16～18時 交流・懇親会

#### ◆場所

高原記念館学友ホール(交流・懇親会は「野のはなハウス」)

#### ◆出席

在学生13名

講師(パネリスト) 5名 小村美幸

(理院平12奈良県立香芝高等学校)

石黒正人(経平19開明中学校・高等学校)

坂台中学校)・藤田彰子(文平26堺市立赤

阪教育大学附属高等学校平野校舎)・

都志啓二(法平4西宮市教育委員会)

大学(アドバイザー) 2名

添田春雄文学部准教授・小林正一教

職支援特任研究員

同窓会(主催者・スタッフ) 6名

市村彰男大阪市立大学同窓会副会長

同窓会(主催者・スタッフ) 6名



(理学部同窓会長) 森本喬全学同窓会事業委員・有恒会副会長、扇田豊有恒会運営本部委員、宮川庄一同委員、植田浩吉事務局長、西脇五郎事務局長  
パネルディスカッションでは、パネリストから志望動機や日常の業務、部活動顧問の仕事など多岐にわたる発言・論議があり、またアドバイザーの添田先生、小林先生から適切なアドバイスが与えられました。質疑応答も盛り上がり、2時間が短く感じられました。交流・懇親会では「個別に先輩から本音に迫る話が聞け、すごく参考になった」と参加在学生からの声がありました。

## 大阪市立大学同窓会 千葉支部の発足

この度、首都圏の南地域、デイズニ

ーランドや多くのゴルフ場を有する千

葉県に、友人や同窓生と、有恒会千葉

支部を結成致しましたので、千葉県

在住の方や、千葉県に関係ある同窓生

は、奮って参加して下さい。今後、新

年宴会、忘年会、暑気払い会等の会合

と、ゴルフコンペ等の催事を実施し、

友好を深め、大阪市立大学同窓会、有

恒会の組織拡大、強化に努めてまい

りますので、御参加下さるよう御願

い申し上げます。連絡先、申込先は下

記の宛先に御願ひ致します。

有恒会千葉支部(仮)事務所

〒136-0071

東京都江東区亀戸4-40-11

△ Tel: 03-3683-0111

○ 090-1243212822

(株)正光社 4階

初代仮千葉支部長 磯部茂夫

(経S42卒)

初代仮千葉事務局長 森田良一

(経S55卒)

〔事務局追記〕

支部の正式発足は、有恒会会員部会長

(副会長)等の出席の下に支部発足総

会開催後となります。

### 文化交流センター

(大阪駅前第二ビル六階)

談話室ご利用のおすすめ

談話室の利用時間が平日は午前十時から午後九時になっております。土曜日は午後六時までです。

受付担当は、同窓会OBが担当しております。曜日別には、左記の通りです。

(月) 佃 貞夫(法昭34卒)陸上部OB

(火) 芝野弘之(工昭44卒)末末会事務局長

(水) 中村正治(工昭41卒)野球部OB

(木) 藤井政治(商昭38卒)

(金) 泉 裕(文昭32卒)陸上部OB

(土) 芝野弘之(工昭44卒)末末会事務局長

卒業生、旧職員、職員の方なら

どなたでも記帳の上、自由にご利用

になれます。自販機があります

のでご利用下さい。(泉裕)

## 「在学生支援事業」その2

### 現職公務員と学生の交流会

本年も市大卒の若手現職公務員と公務員志望在学生との交流会を実施しました。

◆日時 28年7月2日(土)

14時～パネルディスカッション・質疑応答

16時～18時 交流・懇親会

◆場所

学術情報総合センター10F  
大会議室 (交流・懇親会は

「野のはなハウス」

◆出席

在学生 52名(院生2名、4  
回生18名、3回生31名、2回  
生1名)

講師 17名

小副川裕章(工平19) 神谷  
智美(生科平27) 水谷拓人  
(法平27) 中野芳美(生科平  
26) 以上大阪府

藤井一幸(法平12) 松田正史  
(経平17) 以上大阪市

北口雅章(商平3) 古下政義  
(法平3) 藤原菜穂(法平

28) 以上堺市

二星奨太(法平24) 兵庫県

鈴江康祐(商平21) 石田亜弥

(法平23) 以上神戸市

大石大輔(工修平14) 飯田美

和(法平18) 以上京都市

江島幸恵(文平24) 奈良県

岡田綾香(法平21) 中野ひか

る(経平27) 以上和歌山県

大学 4名 井上徹副学

長、富澤修身学生担当部長・

商学部教授、福島祥行文学部

教授、岩川和朗就職支援室長

同窓会 5名 森本全学同

窓会事業委員・有恒会副会

長、扇田有恒会運営本部委員、

宮川同委員、植田事務局長、

西脇事務局長

交流会冒頭、井上副学長、富澤学生  
担当部長から激励のご挨拶があり、パ  
ネルディスカッションでは「志望動  
機」「求められる人材・心構え」「仕事  
内容・職場イメージ

(良かったこと、たいへんなこと)」「

「勤務実態(人事異動、待遇、残業)」「

「今後の勉強(コツ、面接対策)」「是非

伝えておきたいこと(やっておくべ

きこと、覚悟)など様々なことが話  
し合われ志望者に伝えられました。  
交流・懇親会では福島文学部教授の  
励ましのことばの後、岩川就職支援室  
長のご発声で乾杯。その後は先輩・後  
輩が自由に、聞きたいこと、確認した  
いことを個別に話し合い、あつという  
間に2時間が経過しました。これから  
進路を考える2・3回生、すでに公務  
員1次試験受験して、2次試験に臨む  
院生、4回生にとって貴重な交流会に  
なりました。



「戦没学友の碑」 献花の集い

第8回「戦没学友の碑 献花の集い」は平成28年4月8日(金)に行われた。

「戦没学友の碑」は学徒出陣戦没者慰霊碑建立の会の方々の情熱とご努力により、学問の自由と平和への願いを込めて、平成14年4月杉本キャンパス内に建立されたものである。

有恒会では平成21年4月より毎年献花の集いを行っている。

例年大学側からは、植樹、環境整備など周辺メンテナンスにご配慮いただいている。

今回もご遺族、建立の会の方々、卒業生有志、荒川哲男学長初め大学関係者、有恒会運営委員など60名が集い白菊を供え、しめやかに御霊のご冥福をお祈りした。

また南澤会(グリークラブOB)から5名の方が参列、「学生歌」「海ゆかば」を碑前に捧げた。また数名の学生の参列もあった。

昼食会ではご出席の方々からご挨拶を頂き、ご遺族からの思い出と感謝のことがあり厳粛にかつ和やかなひとときとなった。



有恒会では碑周辺の清掃や、垣木の生育状況など配慮しつつ毎年4月、桜の満開に合わせて「戦没学友の碑 献花の集い」を実施している。  
また次年からは全学同窓会主催として位置付ける予定である。  
市大関係者以外の方でもぜひご参列ください。

医療法人 福寿会  
かねむら 歯科医院

歯科 / 小児歯科 / 口腔外科 / 初診随時受付

☎06-6752-8148  
入居者募集中



付属施設：サービス付高齢者向け住宅(特定施設) 福寿

理事長 金村 福寿  
歯学博士  
(大阪市立大学商学部昭和56年卒)  
(朝日大学歯学部卒)

明海大学歯学部 非常勤講師  
大阪歯科大学元 非常勤講師  
日本老年歯科医学会 専門医・指導医

専務理事	金村 光野
歯学博士	金村 優吾
歯学博士	金村 直子
医師	金村 晋吾
歯科医師	金村 裕貴
医師	藤本 英利
理事	金村 寿之
理事	金村 俊佑

大阪市生野区巽北2-17-15  
平成11年1月の朝日新聞“老人力シリーズ”にて  
当院の義歯治療が全国で紹介されました。

# 新聞小説の連載に当たって

北村 純 一 (経昭46卒)

この度次の通り新聞小説として連載の運びとなりましたので御笑覧頂ければ幸いです。

記

一、題名「兄イと呼んだ芭蕉

―其角の思い出―

一、掲載紙「伊勢新聞」

一、平成二八年五月十七日スタート

一、週五日(火曜日から土曜日)

一、約百回、約六か月間の連載

なお伊勢新聞は三重県の地方新聞で県下では中日新聞・朝日新聞に次いで、毎日新聞と並び第三位です。郵送になります。但し県外でも購読可能です。

没後、俳聖として神様になった芭蕉ですが、実際はもっと気さくで庶民的な清濁あわせ持つ人物でした。芥川龍之介はじめ近年では「悪党芭蕉」という小説を出した嵐山光三郎などが人間臭い芭蕉像を描いているほか、最近では芭蕉が得意とした連句にスポットを当てた試みも多いのですが、本小説は芭蕉が世に出る前から苦楽を共にし、言

わば「糟糠の妻」ともいえる一番弟子の其角の目を通して描きました。其角が芭蕉を「兄イ」と呼び、芭蕉も其角を「角」と呼び合っていたとしても何ら不思議はないほど、兄弟のように仲睦まじかった二人。泣いたり、笑ったり、怒ったり、ふざけたり、はしゃいだり、俳諧宗匠の茶羽織を脱いだ、普段着の芭蕉がいました。文章は二人の会話主体で、コミカルな掛け合いを中心に楽しんで読んでいただけるものです。また其角の親友だった井原西鶴も登場させ色を添えています。其角は俳句界の革新を目指す同志として芭蕉を慕っていましたが、決してイエスマンではなく毅然として自分流を貫いた人物でした。幫間俳人として蔑まれることが多い其角の復権も同時に意図しております。

×  
×  
×



自由に。快適に。  
あなたらしい毎日を。

人々の「自分らしくあり続けたい」という気持ちに、ずっと寄り添い続けること。そして、健康寿命をさらに伸ばしていくこと。

世界中の誰もが、いつまでも自分らしく楽しみながら暮らせるように、私たちはこれからもあらゆる企業活動を通じて、ひとりひとりの毎日をサポートしていきます。

**unicharm**

やさしさをつくる。やさしさでささえる。

ユニ・チャーム株式会社